

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地整備課長 松浦 猛 (関根 茂雄)	内線	4003 (4014)
------	----------------	---------------------	---------------------------	----	----------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間	総事業費	約12億円
		経営体育成基盤整備事業	山田地区	内用地補償費	0.59億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
津名郡一宮町山田、入野、高山			H16	H16	H20
事業の目的			事業内容		
効率的かつ安定的な経営体を育成し優良農地の維持確保を図るために必要となる農業生産基盤の整備を実施する。			区画整理 38ha 負担割合 (国50% 県27.5% 町10% 地元12.5%)		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<p>当地区は、水稻を中心にタマネギ、菊などを生産しているが、現況農地は小区画（平均3a）・不整形で、道路、用排水路も未整備なため、農業従事者にとって多大な労力の負担となっている。</p> <p>このような状況の中、受益者・町の強い要望を受け、早急にほ場整備を実施し、区画形質の改善、用排水路、農道等を整備し、農作業機械の大型化による生産性の向上を図るとともに、整備された農地を活用し、効率的、安定的な担い手（集落営農組織）を育成していく必要がある。</p>				
(2)有効性・効率性	<p>費用便益比 B/C = 1.30、所得償還率15.1%であり、事業としての効果が期待でき、農家負担も低く抑えられている。</p> <p>同意率 100.0%</p>				
(3)環境適合性	<p>本地区には、トンボなどの昆虫を餌とするアオバズクの生息が確認されており、幹線排水路の改修にあたり多孔質な構造を持つ法枠ブロックを護岸工として用いるなど、餌となる昆虫が生息しやすい環境を創造し生態系の保全に努める。</p>				
(4)優先性	<p>県道鮎原・一宮線のバース道路用地を創設し、本事業と一体的整備を図ることにより、効率的（コスト縮減）な事業執行が可能となる。</p>				